

地域計画

策定年月日	令和7年2月28日
更新年月日	()
目標年度	令和14年
市町村名 (市町村コード)	甲賀市 252093
地域名 (地域内農業集落名)	水口町牛飼 (牛飼)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	37.9 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	37.9 h a
② 田の面積	37.9 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.6 h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 h a
（参考）区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	0.6 h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.6 h a
（備考）	

(2) 地域農業の現状及び課題

昭和40年代中頃から圃場整備して以来各個人で耕作してきました。圃場もだんだん近代化になり平成26年に農事組合法人うしかいを立ち上げて現在9年余りになり、92.6%までに集積率を確保することができました。今後、少子高齢化社会が目の前に来ています中で、如何に少ない人で機械化によって効率的にしていけるかが課題です。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

今後、10年間の賃貸申請書に地権者と法人うしかいが契約して効率的に圃場の運営にあたり農薬、肥料を如何に少なくしていくことができるのか考えながら水稻の反当りの生産アップをしてまた、麦、大豆の収穫も合わせながら経営基盤の安定に当たる事です。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
圃場で急傾斜のところにおいて防草シートを設置して草刈作業の効率化をはかる。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	92.6	%	将来の目標とする集積率
			95
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
現在継続している。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
現在継続している。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
過去10年間中間管理機構を経て新たに令和7年度から10年間法人うしかいにより運営していきます。
(3) 基盤整備事業への取組
無し
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
地域の特性を活かして新しい事を模索して、市及びJAと連携して取り組んでいきます。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現在取り組んでいる。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

✓	①鳥獣被害防止対策	✓	②有機・減農薬・減肥料		③スマート農		④畑地化・輸出等		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等		⑦保全・管理等	✓	⑧農業用施設		⑨耕畜連携等		⑩その他
【選択した上記の取組内容】									
①地域による獣害被害対策で侵入防止柵の設置									
②有機農業で水稻の減農薬・減肥料を進めていく									
⑧コンバイン、トラクターなどの収納施設の設置									

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度：令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農		水稻	36.7 ha	ha	水稻	37.6 ha	ha	青	
認農		野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha		
利用者		水稻	0.6 ha	ha		ha	ha		
利用者		水稻	0.3 ha	ha		ha	ha		
計	3経営体		37.9 ha	0 ha		37.9 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）

